

「地域とともにある養治小」をめざして

下関市立養治小学校

学校運営協議会について

自治会長、少年相談員、主任児童委員、民生委員、補導員等14名の委員の方で構成されています。年間5回の主な協議内容は、以下の通りです。

4月	学校経営方針の承認、本年度の活動予定、学校応援団の年間計画、会議室（コミュニティルーム）の活用等について
6月	校区安全委員会と兼ねて、校区の児童の安全確保のための情報交換、事件事故の未然防止についての協議
11月	前期学校行事の反省（運動会、学習発表会等）「作って遊んでみちゃろう会」について
1月	学校保健委員会への参加、授業参観（性教育）、授業の様子等について
2月	学校評価結果からの反省、学校運営協議会及び学校応援団の活動の反省、次年度の学校運営について

特色ある活動

1・2年生が「七夕かざり」を作る様子。講師は地域の方々。その他、野菜作りでもお世話になっています。



ボランティアによる朝学での読み聞かせ。ブックトーク等を行う「お話の会」も定期的にあります。



「感謝のつどい」。日ごろお世話になっている地域の方を学校に招待し、感謝の気持ちを伝える会です。



「作って遊んでみちゃろう会」PTA・地域・学校三者で行う行事。工作や餅つき、焼き芋等を行います。



その他、児童の居場所づくりとして始めた昼休みの工作、5年生の初めての裁縫、1・2年生の昔遊びにも、地域の方がボランティアとして指導して下さいます。また、CSルームの活用としては、学校近くの自治会が、お年寄り同士のふれあいの場として、月2回折り紙や工作等を楽しまれています。

来年度に向けて

地域の力を借りて、行事も学習もより充実したものになってきました。また、「児童を支えることで元気が出る」という声も地域から多く聞いています。しかし、学校に来られる方が限られていることは否めません。今後は、学校の行事により多くの地域の方が参加して下さることをめざし、児童のための行事ではなく「地域の行事」になる工夫をしたり、参観日を楽しみにするお年寄りを増やしたりといった取組を考えていきたいと思えます。そして、日頃の子供たちの様子を共有し、「地域の子供は地域で育てる」という気運を高めていきたいと思えます。

「ふるさと文関」を愛する子供の育成をめざして

下関市立文関小学校

学校運営協議会について

(1) 委員の構成

14名（民生児童委員、スポーツ振興会事務局、文関子ども会連合、PTA役員等）

(2) 実施回数

年4回開催（5月・8月・12月・2月）

(3) 主な協議内容

- ・「“ふるさと文関”を愛する子供を育てるために
～学校・家庭・地域が連携してできること～」
- ・学校評価結果から見られる課題の解決に向けて
- ・教育課程や学校の取組について（今年度～来年度）



↑ 学校運営協議会

特色ある活動

◆【学校支援】学習協力ボランティア活動

本年度は保護者を中心に約100名の登録があり、校外学習や水泳学習の見守り、ミシンや小刀の指導補助など学習の支援者として協力をいただきました。

◆【地域貢献】学校開放DAY

10月18日（金）に地域の方や保護者が気軽に学校に足を運ぶきっかけとなるように、通常の授業公開とあわせて、図書館司書によるアロマ教室、ランチルームや体育館での講師を招聘した特別授業、合唱クラブによる「ミニコンサート」等を行いました。



↑ ミシン学習支援

◆【地域貢献】ふれあい給食

自校給食という特性を生かして、地域の方や保護者を招いてのふれあい給食を実施しています。子供たちとのふれあいを深めるとともに、本校の食に関する指導の実態をお知らせするよい機会ともなりました。



↑ ふれあい給食

◆【地域貢献】小中合同クリーン作戦

日新校区青少年健全育成協議会のクリーン作戦に6年生が参加しています。夏休みのPTA作業日と合わせ、中学生や地域の方と一緒に、校区内のゴミ拾いを行いました。地域に貢献するこの活動を通して「ふるさとを愛する心」が醸成されていると感じます。

来年度に向けて

8月に実施した熟議の中で、委員さんより「活動自体はおおむね軌道に乗っているようだが、より充実したCSにしていくためには、目的や内容についてより多くの方々に周知を図っていくことが必要ではないか。」というご意見をいただきました。「学校・地域連携カリキュラム」の効果的運用や「CSだより」の配付の拡充、学校HPの活用等により、保護者や地域の裾野を広げ、意識をさらに高めていくことが必要と考えます。そして、将来へ向けて持続可能なCSとなるよう、地域をより元気にするための地域貢献のあり方等を模索していく必要があると考えます。

地域とともにある学校づくりをめざして

下関市立日新中学校

学校運営協議会について

主な協議内容（各学期1回実施）

- ・学校運営方針の周知と承認
- ・本年度の組織および活動について
- ・学校課題・評価や情報等の共有
- ・協育ネット飛雁との連携と協力
- ・働き方改革について

特色ある活動

◆地域ボランティアによる学校支援活動

【学習環境整備支援～校地内清掃～】

1・2学期の週休日に、校地内の環境整備活動を多くの地元企業の協力を得て実施しています。年に2回、日頃の手の届かない高木の伐採や草刈りなどをやっていただいているお陰で、一年を通じて気持ちのよい環境の中で教育活動を展開することができています。そして生徒は、献身的に作業をされる大人の背中を見ることで、学校や地域に貢献することの大切さを学んでいます。

◆熟議の実施

実施日：令和元年6月28日

テーマ：学びが好きな子供を育てるためにできること

参加者：約100名

日新校区青少年健全育成協議会が主催する「校区懇談会」で各自治会に分かれて熟議を行いました。積極的な意見が交わされ「大人と話す経験は人生の財産となる」「分かる楽しさ、できる喜びを味わえる授業」「自立した学習者を目指す」等多くの貴重な意見が出されました。そして地域として「学校では教えられないことを教える場の提供をしていこう」と締めくくられました。

◆学校運営協議会主導による「ようこそ先輩」への取組

職業人として活躍する本校卒業生から職業観や生き方を学ぶために、1年生対象に職業講話を実施しました。講師の選出・運営を学校運営協議会にお願いし、いろいろな経歴をもつ5名の講師を選んでいただきました。当日、生徒は希望する3名の方の話しを聞き、学校運営協議会の委員の皆様には司会・進行をしていただきました。あらためて地域の人材を学校教育に生かす有益性を感じました。



来年度に向けて



今後も「地域とともにある学校づくり」の推進に向けて、現在実施している活動に、地域の力を活用できないかを考えていきたいと思えます。そのためには常にその活動が何のために実施されているのかという「原点」に立ち返り、地域や保護者のみなさまと力を合わせて、よりよいものにしていきたいと思えます。